



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの機能の主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1:

日付	説明	参照先
2023 年 12 月 18 日		<ul style="list-style-type: none">• 要件および制約事項• 仮想マシンの構成• COP ファイルでサポートされているアップグレードおよび移行パス• アップグレード準備 COP ファイルの実行 (アップグレード前)• VMware ツールの更新• IPSec の要件

日付	説明	参照先
	<p>Unified Communications Manager、IM and Presence Service、およびすべてのアプリケーションが64ビットアーキテクチャに移行されました。</p> <p>影響を受ける領域の一部は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unified Communications Manager および IM and Presence Service 15 には、ESXi バージョン 7.0 U3 または 8.0 U1 が必要です。 • Unified Communications Manager のリリース 15 は、インストール時に最小 110 GB の仮想ディスクのみをサポートします。インストール時の 80GB の仮想ディスクはサポートされていません。 • 12.5.x より前のソースからリリース 15 への直接更新アップグレードはサポートされていません。 • アップグレード前の準備 COP ファイルに、Unified Communications Manager と IM and Presence Service の新しいチェックが追加されました。 • Unified Communications Manager と IM and Presence Service 15 は、オープン VM ツールのみをサポートします。 • 3DES アルゴリズムを使用した IPSec ポリシーは、リリース 15 の FIPS モードではサポートされてい 	

日付	説明	参照先
	ません。	
2023 年 12 月 18 日	単一の「CiscoRTMTPlugin.zip」プラグインを使用して、Windows または Linux の両方のオペレーティングシステムで実行されているワークステーションで Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (Unified RTMT) をアップグレードできます。	RTMT のアップグレード

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。